

分野	科目名		配当年次	開講期	
専門分野	臨床看護総論		2年次	前期	
単位数	時間	担当教員		実務経験の有無	
1単位 (15時間)	16時間	東 千恵子 専任教員		有	
授業の概要	臨床でよく認める症状について、解剖生理の知識を踏まえてそのメカニズムと特徴を理解する。また、基本的な看護と必要な技術の理解を深める。授業には協同学習を取り入れ、グループメンバーで話し合うことによってお互いの理解を深める。				
到達目標	1. 臨床でみられる各症状・病態の成り立ちや種類、特徴を理解する。 2. 各症状・病態に対する基本的な看護を理解する。				
授業計画	No.	授業内容	授業方法	備考	
	1 2 3 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協同学習の進め方について説明</li> <li>・各グループに分かれての学習               <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 発熱のメカニズムと看護</li> <li>2) 浮腫のメカニズムと看護</li> <li>3) 脱水のメカニズムと看護</li> <li>4) 疼痛のメカニズムと看護</li> <li>5) ショックのメカニズムと看護</li> </ul> </li> </ul>	講義 LTD 学習		
	5	発熱グループの発表	ジグソー学習		
	6	浮腫と脱水のグループ発表	ジグソー学習		
	7	疼痛とショックのグループ発表	ジグソー学習		
	8	各学習のまとめ 温罨法と冷罨法の技術について	講義		
	評価	筆記試験 100点			
	参考文献	1) 菱沼典子：看護につながる 形態機能学. メヂカルフレンド社. 2018 2) 増田敦子：解剖生理をおもしろく学ぶ. サイオ出版. 2016 3) 高木永子：看護過程に沿った対症看護 病態生理と看護のポイント 第4版. 学研 4) 堺 章：新訂 目でみるからだのメカニズム. 医学書院. 2000 5) 関口恵子：根拠がわかる症状別看護過程 改訂第2版. 南江堂. 2010 6) 岡庭 豊：病気がみえる Vol.8 腎・泌尿器. メディックメディア. 2015 7) 大館敬一：症状の基本がわかる本 そのメカニズムと観察・検査・ケアのポイント. サイオ出版. 2019			
備考					